

活動情報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290

E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

園芸畜産課 花き畜産係

No. 9 (令和2年9月24日)

特殊石灰資材を用いた屋根白色化による暑熱対策

～暑さに負けない酪農経営を目指して～

近年、夏場に猛暑が続く中、乳牛の健康を守り生産性を高めるための重要な対策は、屋根からの太陽熱の侵入を防ぐことや牛に風を当てる等の暑熱対策です。

屋根からの太陽熱の侵入を防ぐには、①屋根の色を白くし日射反射率を高めることや、②屋根の断熱性を高めること等の方法があります。

本年度京築地域では、酪農家3戸が、ふくおか県酪農業協同組合の取り組みを利用し、石灰に特殊樹脂等を混ぜた特殊石灰資材を用いた屋根の白色化を実施しました。この資材は、屋根に塗布することによって屋根の日射反射率と断熱効果の両方を高め、効果持続期間も5年以上と長いことが特徴です。普及指導センターでは塗布前後の牛舎内気温を継続的に測定し、効果の検証を行いました。その結果、屋根の素材や牛舎構造の違いによる差異はあるものの、牛舎内温度を下げる効果は2℃から3℃程度と見込まれ、十分な投資効果があると認められました。農家からは、「刺すような暑さが無くなった」、「もわっとした感じが無くなった」、「明らかに体感温度が下がった」といった声も聞かれました。

また、令和元年度に酪農家と関係機関で行った牛舎内風速実態調査の結果を参考に、扇風機の位置調整や増設等の風速向上への取り組みも進んでいます。

普及指導センターでは、酪農経営の安定を図るため、今後も関係機関と連携し、暑熱対策の実施等の支援を進めていきます。



塗布前



塗布後